

第2回都城市総合教育会議 議事録

日 時：平成28年5月31日(火)午後1時30分～2時55分
 場 所：都城市役所本館4階 秘書広報課前会議室
 出席者：都城市長 池田 宜永、教育委員長 小西 宏子
 委員長職務代理者 赤松 國吉
 教育委員 中原 正暢、島津 久友
 教育長 黒木 哲徳

発言者	内 容
前原総合政策部長	<p>皆さん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、ただいまから第2回都城市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>本日の会議の進行を務めさせていただきます、総合政策部長の前原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>失礼して、これ以降は着座のまま進めさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、最初に池田市長からあいさつをお願いいたします。</p>
池田市長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>第2回の総合教育会議ということで、ご承知のように昨年度から教育行政の組織運営が変わりまして、総合教育会議の設置が義務付けられたところであります。総合政策部で会議を運営、私が招集ということになっております。よろしくお願いいたします。</p> <p>教育委員の皆様におかれましては、日頃より都城市の教育行政に尽力いただきまして感謝申し上げます。私も就任して3年半経ちましたけれども、子どもたちの育成というのは大変大事な分野でございまして、先生方、教育委員会に担っていただいている役割は大変大きいものであります。人を育てていくということは大変難しく、結果がすぐに出るものではありませんが、将来に向けてやっていかねばならないことです。</p> <p>これまで、このように議論する場がなかなかない中、制度として総合教育会議ができましたので、我々としてもこの制度を生かし、これまで以上に意見を交換しながら、都城市の教育行政を進めていくことが必要であると考えております。</p> <p>今日は、意見交換のテーマも出していただいておりますので、先生方の考えもお聞きしながら良い会議になればと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
前原総合政策部長	<p>ありがとうございました。続きまして、小西教育委員長からあいさつをお願いいたします。</p>
小西教育委員長	<p>皆様、こんにちは。ただいま、ご紹介いただきました小西でございます。</p> <p>本日、第2回の総合教育会議の開催に際しましては、総合政策課の皆様にご</p>

	<p>とお世話になりましたありがとうございます。</p> <p>総合教育会議の趣旨を只今市長も申されたように、市長と教育委員会が教育行政の方向性を共有することと理解いたしております。そのために、市長のご意見・思いなどもいただきまして、十分な意見交換ができますことを願っております。</p> <p>本日は協議事項として、本市の教育行政における現状と課題、教育大綱の骨子案の2つであります。前者の教育行政における現状と課題につきましては、教育委員と事務局が協議を重ねまして現時点での内容を本日も示しております。十分な検討を重ねまして、教育振興基本計画の策定に繋げてまいりたいと思っております。また、本日の意見交換としまして、学力向上及びグローバルな人材の育成をテーマとして挙げさせていただいております。このことにつきましても、多角的な視点からのご意見をいただけましたら幸いと存じます。</p> <p>今後、総合教育会議がより実効性のあるものとして、先日制定されました教育の日と重ねましてより多くの市民の皆様にご理解いただけるものとなってまいりますように、大きな期待を込めてご挨拶といたします。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
前原総合政策部長	<p>ありがとうございました。それでは4の協議事項に入りたいと思います。1)教育行政における現状と課題について事務局が説明いたします。</p>
杉元教育総務課長	<p>教育総務課の杉元です。</p> <p>現在策定作業を進めております、都城市教育振興基本計画における教育行政における現状と課題について説明いたします。</p> <p>都城市教育の現状と課題について（案）がお手元にあるかと思えます。</p> <p>まず、現状と課題について大きく4つの項目で分けております。1番目が就学前教育・保育について、2番目が学校教育について、3番目が家庭や地域の教育力について、4番目が生涯学習や文化・スポーツ活動について、以上の4つの柱としまして、更に詳細な現状と課題の洗い出しを行っております。</p> <p>それぞれの項目につきましては、現在の状況を数値化、グラフ化しまして、具体的に記述をしております。</p> <p>まず、1番目の就学前教育・保育につきましては、子ども子育てに関する新制度のもと、市内の保育園、幼稚園等の形態も移行しております。その中において、市民の需要及び供給が質・量ともに十分であるかが課題であり、また学校教育への連携の在り方も充実させる必要があると考えています。</p> <p>2番目の学校教育につきましては、知・徳・体と郷土を愛する心、つまり学力、道徳心、体力、郷土愛、これに加えて生徒指導の現状にいじめや不登校の現在の状況を記載しております。更に職業意識や、グローバルな人材の育成、そして教職員の状況、家庭、地域との連携、食育と広い分野で現状と課題をまとめております。特に学力につきましては、本日の意見交換のテーマにもなっ</p>

	<p>ております。</p> <p>全ての項目において学校の果たす役割、家庭、地域の連携が不可欠であると 考えております。そして学校運営協議会の果たす役割も更に大きなものになる と考えております。</p> <p>これらを踏まえて、3番目の柱、家庭や地域の教育力では、家庭や地域の教 育力の現状、経済格差と学力の問題、放課後の居場所づくりの現状を記載して おります。</p> <p>最後に4番目、生涯学習や文化・スポーツ活動については、生涯学習、社 会スポーツ、図書館、美術館、文化財等の現状と課題を記載しております。団 塊の世代の大量退職後の生涯学習の在り方の検討が必要であり、また、現在の 図書館の現状と課題を踏まえ、新図書館の運営等考える必要があります。更に、 私立美術館の役割や、昨年度重要文化財等を展示できる施設として承認を得ま した都城島津邸、また子どもはもとより多くの市民に郷土の歴史を周知するこ とが必要であり、それらを専門的に分析する人材の育成も不可欠であると思 っております。</p> <p>以上、現状と課題であります。文書中に様々な表、グラフ、アンケート結 果を載せております。より分かりやすい説明とするために、今後もデータの収 集に努め、精査していく考えであります。</p> <p>今後は、この現状と課題を踏まえ、施策の方向性を検討してまいります。施 策の検討の中で、現状と課題について付け加えるべきことが出てくることも考 えられますので、その際はこの現状と課題の内容について更に充実させてまい ります。</p> <p>都城市教育振興基本計画の素案のまとめを9月に行いまして、第3回目の総 合教育会議でお示しする予定です。その後、11月のパブリックコメントを経て、 年度内策定の予定としております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
前原総合政策部長	<p>ただいま事務局から説明がございましたが、ご意見、あるいはご質問等がご ございましたらよろしくお願いいたします。</p>
黒木教育長	<p>スポーツ振興の説明は省いたのでしょうか。</p>
杉元教育総務課長	<p>スポーツ振興の具体的な説明については省きました。</p>
前原総合政策部長	<p>よろしければ、この後、教育大綱の骨子案等説明いたしますので、その後で 再度質問等の時間を設けさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは引続き、2)教育大綱の骨子案について事務局から説明をお願いし ます。</p>
吉永総合政策課長	<p>総合政策課長の吉永でございます。よろしくお願いいたします。座って説明 させていただきます。</p> <p>都城市教育大綱の検討状況について概略を説明いたします。お手元に「都城</p>

市教育大綱について」という資料をお配りしております。

教育大綱につきましては、昨年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴いまして、昨年度から策定に関する検討を進めてきているものでございます。「1 大綱の位置づけ」に記載しましたように、市の教育大綱は、国の第2期の教育振興基本計画に示されている4つの基本的方向性と8つの成果目標を参酌して定めることとされています。現在は教育委員会で検討されている、ただいま説明にございました本市の教育振興基本計画と並行して検討を進めている段階でございます。

「2 大綱の期間」にありますように、計画の期間としましては、教育大綱が首長と教育委員会が協議、調整を尽くして首長が作成をするものであるということに鑑み、平成29年度から32年度までの4年間を想定しているところでございます。

1ページから4ページにかけまして、4つの基本方針を検討しているところでございます。現在は、骨格について協議している段階でございます。1ページ上の四角で囲んであります部分が、国の示す基本的方向性と成果目標でございます。それを参酌しつつ本市の現状と課題を踏まえて、大綱では大きな方向性を示したいと考えているところでございます。

1番目の基本方針として、明日を担う子どもたちの学力・人間力を伸ばす方針を掲げております。本市の役割として、特に幼児期から義務教育にかけての学習環境を充実させるとともに、自ら学び考え行動する力を備えた主体的、能動的な人間力あふれる人材を育てていく取り組みを進めていく方向性を示したものとっております。

2ページを開いていただきまして、ふるさとを誇りに思い、世界に羽ばたく子どもたちを育てる方針を定めております。ふるさと都城を生涯誇りに思う心を育てるとともに、広い視野を持ったグローバルな人材を作り出す教育が必要だと考えております。更には、高等教育機関が持つ、知見を教育や地域社会の活力向上に生かしていく視点を掲げているところであります。

3ページは、常に学び、感性を磨き、文化の薫る豊かなまちを創るという生涯に渡って学び続ける環境づくり、スポーツや芸術文化に触れあう環境づくり、歴史や有形無形の文化資源に親しむ環境づくりを推進していく方針を掲げているところであります。

4ページには、自立した人材を育み、協働のコミュニティを実現する方針を掲げているところであります。現在、本市で進めている地域をあげて子どもたちを見守り育てる環境の充実はもとより、多様な主体が参画した自立的・主体的なまちづくりを、より一層積極的に進めていく方針を掲げております。

以上が現時点における本市の教育大綱の骨子であります。

今後は、先程説明がありました教育振興基本計画の策定に向けた検討と併せ

	<p>て、大綱案を整理してまいりたいと考えております。9月議会終了後、10月に入りましたら改めて原案を皆様にお示しできるように、教育委員会と市長部局で調整を進め、パブリックコメント等を経て29年度からの大綱としてお示しできるように進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。</p>
前原総合政策部長	<p>ただいまの事務局からの説明、先程の教育行政の現状と課題も含めましてご意見、ご質問等ございませんか。</p>
池田市長	<p>教育大綱と教育振興基本計画はどういった関係にあるのでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>国の通知により、市の教育大綱については国の教育振興基本計画を参酌して定めるとしています。教育大綱は、首長と教育委員会との協議に基づいて決めていくものでございますので、市の教育振興基本計画を背景として捉まえながら教育大綱を策定していく必要があると考えています。</p>
池田市長	<p>大綱は教育振興基本計画を参酌して定めるのですか。</p>
吉永総合政策課長	<p>教育大綱につきましては、幼児教育や文化振興等、教育委員会の所管分野を超え、方向性も示していくこととなります。そういったことから、教育大綱の方がより幅広い視点で方向性を定めるものと考えております。</p>
池田市長	<p>教育大綱の義務教育の具体的な部分が、教育振興基本計画と認識してよろしいのでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>教育振興基本計画では、義務教育だけでなく、生涯学習、スポーツ振興といった幅広い分野になってまいりますが、教育大綱においては、更にそれを超えて幼児教育、文化振興も捉まえていくということになります。</p>
池田市長	<p>教育大綱と教育振興基本計画の関係性については、整理しておく必要があると思います。</p>
吉永総合政策課長	<p>教育大綱と教育振興基本計画の概念から申し上げれば、当然、教育大綱が全体に網のかかるものになります。この教育委員会と市長部局で定められた教育大綱をベースに、教育振興基本計画は定められていくべきと考えております。そういった点で、策定の時期を同一にして検討しており、内容の調整は十分にされたものになると考えております。</p>
島津教育委員	<p>教育大綱に基づいて教育振興基本計画を作りましょうという話なのか、若しくは、教育大綱と教育振興基本計画の作成を、同時並行的に、整合性を取りながら進めていくという話なのか、どちらでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>基本的に教育大綱という性質のものは、地方公共団体の教育のみならず、学術文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものと理解が示されておりますので、教育大綱で根本となる方針を定め、そこに基づいて様々な計画、例えば文化振興計画のようなものがその下にぶら下がってくるイメージであります。</p>
池田市長	<p>大綱があって、そのより具体的な計画が各分野にあって、その1つに教育</p>

	<p>振興基本計画があるということであれば理解できます。</p> <p>ところで、教育振興基本計画はどのくらいのボリュームのものになるのですか。現状と課題に対して、具体的施策はどのくらいのレベルで書くのですか。総合政策課が策定した総合戦略は課題に対してきっちりと施策を書いています。課題に対して実効性のある施策を紐づけることが重要です。教育振興基本計画は総論的なものなのか、具体的な施策まで掘り下げるのか教えてください。</p>
杉元教育総務課長	<p>現在、毎年、教育基本方針を定めています。その中で、施策はある程度柱立てをしておりますので、そこに今計画している事業をぶら下げていくイメージでおります。最終的には、成果目標を数値としても書きたいと考えています。</p>
池田市長	<p>では、まず大綱があつて、教育振興基本計画があつて、その下に具体的な施策があつてというイメージ、位置づけでいいのですね。</p>
黒木教育長	<p>教育大綱自体、ざっくりしたものになるのですか。</p>
吉永総合政策課長	<p>はい。あくまでも大きな方向性を示すものであります。</p>
島津教育委員	<p>今いただいている教育大綱は骨子案となっておりますが、もう一段は細かく書くイメージでよろしいでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>今のところ、教育大綱に数値の目標等を定める予定はありません。もう少し教育振興基本計画の中で揉んでいただいた結果として、背景等が書き込めれば良いと考えておりますし、主要なグラフを活用させてもらうこともあるかもしれません。</p>
島津教育委員	<p>今年の秋が教育大綱、教育振興基本計画のゴールということですので、それまでに総合教育会議の場以外でも協議の場を設けた方が、確実に整合性の取れた良いものができるのではないのでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>教育総務課と十分に意見交換しながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
島津教育委員	<p>最終的に、教育大綱、教育振興基本計画はどのようにオーソライズするのでしょうか。</p>
吉永総合政策課長	<p>両方ともパブリックコメントを行うことにより、様々なご意見をいただいて、大きな見直しや新たな方針があった際には、総合教育会議の場を設け、最終的に確認いただくこととなります。しかし、計画に大きく影響を与えるものではないご意見や施策に対する希望であった場合は、事務局ベースで意見交換をして策定の流れを作ることもできるかと思えます。</p>
黒木教育長	<p>教育委員会に関係しない部分はどこかでまた議論をするのですか。</p>
吉永総合政策課長	<p>教育委員会に関係しない部分については、現段階で、関係課が集まり方向性のすり合わせを行っております。最終的に、教育大綱は、部長会議、庁議を経る流れになっております。</p>
黒木教育長	<p>大綱は大雑把なもので、これまで教育委員会が作っていた計画等がオーソライズされているという風に思えば良いのでしょうか。</p>

吉永総合政策課長	<p>教育大綱は、教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策についての目標、方向性を示すものだと考えますので、具体的な施策については、数値目標等も含めて、例えば市長部局でありますと、子ども子育ての基本計画でありますとか、教育委員会であればまさに教育振興基本計画の中で明示をして、更に達成すべき数値目標等をしっかりと掲げていただけたらと思っております。</p>
黒木教育長	<p>教育に関して、数値目標は挙げにくいものがありますので、必ずしも数値目標というものではないと思います。</p>
杉元教育総務課長	<p>成果目標をどのような表現で出すのか、どのような数値を出すのかということについては難しい部分がありますが、市民の皆さんにとっても分かりやすい形で達成目標を示す必要があると考えております。</p>
前原総合政策部長	<p>それでは、教育行政における現状と課題、教育大綱の骨子案について、今いただいた意見をもとに精査、整理してまいりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは続きまして、意見交換に入らせていただきます。学力の向上及びグローバルな人材の育成の育成について、学校教育課長から説明をお願いいたします。</p>
児玉学校教育課長	<p>学校教育課の児玉でございます。では、説明をさせていただきます。</p> <p>まず、学力の向上についてです。学力の現状は、みやぎ学力テストと全国学力テスト、2つの大きいテストがあるのですが、総じて、国語については、小学校のA問題、つまり基本問題の正答率は良好ですが、活用問題には課題がございます。</p> <p>国語A以外の教科につきましては、基本問題、活用問題ともに、県及び全国平均を下回る結果であり、特に中学校において大きな課題がございます。</p> <p>そこで、学力向上に対しての今後の取組でございます。まさに本日でございますが、今年度初めての「学力向上担当者会」を開催いたします。全小・中学校の担当者を集めて、学力テストの結果分析や活用の仕方等について講義・演習を行うものでございます。これは、今現在の学校の実態を知ってもらうことが目的でございます。</p> <p>これを受けまして、8月に「都城市授業力向上セミナー」を開催いたします。優れた指導方法を有する教職員による研修講座を行い、指導技術や教科の専門性を高めてまいります。</p> <p>加えて、各学校への訪問もいたします。特に、今年度は、支援訪問を見直し、授業力向上について「実」のあるものにしていきたいと思っております。また、近年急激に学力が低下した学校や、学力の低迷が続いている学校を重点支援校とし、4校を抽出しまして、県の指導主事とチームを組み、年3回程度支援をいたします。このように底上げを図っていきたいと考えております。</p> <p>また、学校職員を交えたICT関係の専門部会を開催いたします。効果的・効率的な授業作りのためにICT環境整備計画を推進していくところでござい</p>

	<p>ます。</p> <p>続きまして、グローバルな人材育成に関する現状について説明をさせていただきます。まずはALTの数でございます。平成24年度は7名だったのに対し、今年度は14名となっております。その結果、各クラスに年に16回程度のALTの訪問が可能となりました。延岡市の場合、年10回程度の訪問ですので、大変ありがたいことと考えております。あわせて、月に1回のALTの研修もっております。指導方法や悩みの共有し、ただ行くだけではなく、ALTの力も上げていきたいと考えております。</p> <p>また県の事業で、韓国との国際交流「アンニョンハセヨ！ 少年少女国際交流事業」がございまして、ホームステイの受入やホームステイ体験をするというもので、今年度都城市からは小学生2名、中学生1名が応募中でございます。</p> <p>また、中学校の英語の教員全てが参加する「中学校英語教育研修会」がございまして。昨年度は高城中英語教諭とALTが共同で模擬授業を実施しております。</p> <p>では、グローバルな人材育成に対して、今後の取組みでございます。ALTの数の継続的な増加でございます。ALTの数を平成32年までに18名に増加させていただければ、平成30年から小学校3、4年生でも外国語活動を先行実施が可能になると考えております。</p> <p>更に、ALT研修会も継続して実施してまいります。</p> <p>またオーストラリアへの中学生の海外派遣事業と海外受入事業でございます。派遣事業は中学生10名を派遣し、受入事業については、オーストラリアの中学生を最大25名受入いたします。受入時には、各学校に1日半程度登校してもらうことで、多くの生徒が交流体験できると考えております。</p> <p>また、「中学校英語教育研修会」について、今年度は指導主事とALTが共同模擬授業を実施する予定となっております。</p> <p>以上でございます。</p>
前原総合政策部長	ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございませんか。
小西教育委員長	重点支援校として4校を抽出し、県の指導主事とチームを組み、年3回程度の支援ということですが、内容はこういったものでしょうか。
児玉学校教育課長	支援については、学校側と指導主事が、校長先生がどのような研修を望んでいるかといった相談を事前に行った上で進めてまいります。先日、第1回の支援を行った学校がありまして校長先生は「自由に学校を、授業を見てください。」というお願いをされました。沢山の指導主事に授業を見ていただき、その後研修会を実施し、後日、校長先生から、「大変良い研修をしていただいた」と電話をもらったところであります。
島津教育委員	ICT推進という話がありましたが、県内において、都城はあまり進んでいないイメージがありましたが、どのようなことをされるのでしょうか。
児玉学校教育課長	ICT関係については大きく3つございます。1つは授業におけるICTの活用です。例えば大きな画面がないと全体の子どもたちには提示できないとい

	<p>ったことがあります。手元を写す機械によって子どもたちに提示するといったこともやっておりますが、全ての教室には入っていない現状です。</p> <p>2つ目は教育の情報化の中で先生方の公務を効率化させるというシステムが出来上がってきております。これにつきましては、都城で稼働が活発なところはまだございません。出席日数が手計算でなく自動的に入っていくというような先生方の業務の効率化を図るものであります。</p> <p>3つ目は、学校と教育委員会、都城市がうまく繋がれるシステムでございます。今、市と繋がっているのは、校長先生と事務室のパソコンのみでございますので、今年度中に教務主任と教頭先生のパソコンも繋がるようにいたします。これで25%の接続率となり、市とメールのやり取りやデータの共有が可能になります。</p>
島津教育委員	<p>人的資源等が限られている場合には、コンピューターの活用は重要になってくると考えますので、業務を効率化し、先生方の教育力アップに繋がればと考えております。</p>
黒木教育長	<p>今、都城はICT環境が整備されておられません。そのため、都城市から他市へ行った先生方がICTの利活用できないといった問題も起きています。子どもたちのため、ICT環境の整備をお願いします。</p>
池田市長	<p>教育が数値目標化しづらいというのはよく分かりますが、子どもたちにとってこのような効果が出てくるから投資をしたい、そこをきちんと教育委員会が説明することが重要だと考えています。</p> <p>私自身ICT導入には否定的ではないし、先生たちの環境が良くなることで、子どもたちの学力の向上、人間力の向上に繋がるのであれば大いにやっていただきたいと考えています。</p> <p>また、ALTの人数についても14名から18名の増だけで良いのですか。</p>
黒木教育長	<p>ALTについては、採用する人がいないという現状があります。</p> <p>ALT枠の捉え方の問題もありまして、現在は外国人でなくてはならないとなっていますので、海外に10年以上滞在した経験のある日本人でも良いということになれば、もう少し人数を増やせる可能性があると考えています。</p> <p>また、今、オーストラリアと交流をしているので、思い切って先生を1年間交換するというのはいかがでしょうかと考えています。</p>
池田市長	<p>先生を交換するアイデアは、是非、教育委員会の考えとしてまとめたものを出していただければと思います。発想を変え、今までと違うことをして、前に進んでいくものです。</p> <p>海外交流事業についても、経験が全てですし、自分の成功、失敗等の経験に基づいた視野、視点を身につけることは重要だと考えますので、大いに行ってほしいと思っています。今回、10人の募集に対し、80人の応募があったとのことですので、来年以降人数について再度検討したいと考えています。</p>

	学力については、何が原因なのか分かりませんが、素直に言って悔しいです。
黒木教育長	私も大変悔しいです。
池田市長	学力では、今まで抜いたことない中部教育事務所を抜いてみたい、それくらいの期待を持ってやりたいです。
黒木教育長	<p>2つ方法があります。</p> <p>1つは、算数や数学は差が非常に大きいので、講師を付けて少人数指導をする方法です。</p> <p>もう1つは、地域が学習への意識を変えるということです。ある学校へ訪問に行った際に聞いた話ですが、地域の中で「そんな勉強させんで、てげてげでよかが。」といった声もあるとのこと。学校運営協議会を通じながら、学習することは大切という意識を、地域が持つことが重要と考えます。スポーツも学ぶことも大切という意識改革が大きな課題です。</p> <p>また、スポーツだけをしておけば良いと考える親も多く、のんびりとした土地柄で都城の良いところでもあると思うのですが、これからのことも考え、少し意識を変えていただけたらと思います。</p>
島津教育委員	<p>学校に話を聞くと、成績は二極化しているようです。</p> <p>都城は退職校長先生もいっぱいいらっしゃるので、そういった方が週末の塾でもやっていただけたらと思います。</p>
黒木教育長	既に校長会にはお願いしており、沖水地区では始めるとの話も聞いています。
池田市長	シルバー人材センターの退職された先生方版を作るのは良いかもしれないですね。
小西教育委員長	家庭に余力が無いという貧困により学力が落ちているということも大いにあると思います。退職校長会の方々がその子どもたちの学力向上に手を貸していただけたらと思います。
黒木教育長	退職された校長先生方は、指導力を持っていらっしゃる方々なので、大いにお願ひしたいです。
島津教育委員	1日1回給食しか食事が無い、家に帰っても居場所が無い、そういった子どもたちがいます。地域でそういった子どもたちを看ることができたら理想的です。
黒木教育長	地域に子どもたちの居場所を作ってあげて、勉強も含めて子どもたちの面倒を看ることが必要になってくると思います。
前原総合政策部長	<p>そろそろお時間が近付いておりますので、最後の質問になるかと思ひます。よろしいですか、何かございませんか。</p> <p>それでは意見交換を終了させていただきたいと思ひます。</p> <p>本日は、皆様、沢山のご意見等いただきましてありがとうございました。第2回目の都城市総合教育会議はこれで終了いたしますが、次回以降も沢山のご意見をお願いしたいと思ひております。</p>

	<p>なお、次回の会議日程ですが、詳細が決まり次第、事務局よりお知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------